

CENTENARY

2012. 10 . 29
第 72 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

創立 100 周年記念号

加古川西高等学校創立100周年記念式典が、去る10月20日(土)に本校体育館で挙行されました。

爽やかな晴天となった式典当日、全校生徒990名と来賓200余名、そして職員70名



が一同に会し、厳粛に記念式典が挙行されました。

司会は本校生徒会役員3名が担当しました。最初は緊張気味の3名でしたが、式の進行にともなう次第に解れ、一度の失敗もなく無事式典を終えることができました。

式典は校長式辞から来賓祝辞へと進み、その後、生徒会長の糟谷さんが「よろこびの言葉」を述べました。



「よろこびの言葉」を述べる糟谷さん

本校には校歌が3つあります。創立当初の郡立高等女学校校歌、県立高等女学校校歌、そして現校歌です。式の最後はこれら3つの校歌と、生徒



開式に先立って挨拶する司会の3名

の作詞作曲による記念歌の斉唱です。

高等女学校の校歌は生徒だけで斉唱しました。会場内一杯に女生徒の清らかな歌声が響き、まるで大正時代に立ち戻ったかのような雰囲気になりました。来賓として来られていた女学校時代の先輩方の脳裏には、きっと当時の光景が浮かんでいたことでしょう。目を押さえる方も見受けられました。



女学校校歌を斉唱する女生徒たち

生徒たちが一番立派だったと思います。こんな生徒と100周年記念式典を迎えることができ、ほんとうに素晴らしい幸せな一日でした。生徒諸君、ありがとう。

ちょっと一言 創立百周年に関する諸行事の総まとめとして、記念式典が粛々に行われました。同窓生の皆さんに誇りに思っていただけのような式典にしよう職員・生徒が心を込めて準備し、実施いたしました。式典の後で行われた記念祝賀会で高等女学校の方々から「気持ちのこもったよい式典だった」「母校を誇りに思う」「校歌を歌ってもらって当時は思い出されて涙が出た」という感想をいただきました。生徒会長の「よろこびの言葉」もよく考えられた素晴らしい出来栄でした。ご紹介できる場があればと思っています。こんなに気持ちの良い素晴らしい生徒たちを誇りに思います。